

ソーシャル・ラーニング テーマ「宿題は廃止すべきか？」

◆私たちの考えた結論 「宿題はあるべきだと思う。」

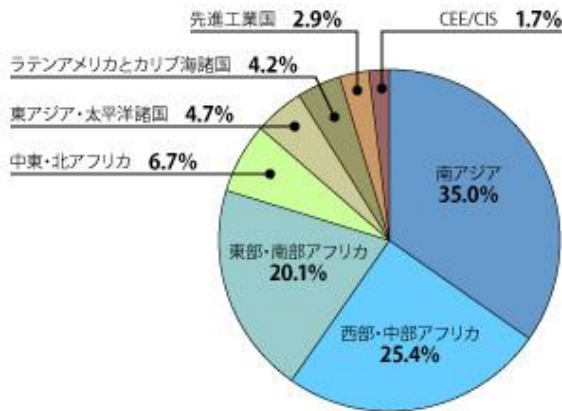
(もともと宿題が嫌だと思っていたのに、宿題は必要だと思った理由)

- ・宿題をやることで多くの知識が身につく、自分のやりたい仕事に就くため。
- ・学力が低下するから。授業でやった(数学の除法など)ことを分からないままにすると、テストの点が悪くても授業はどんどん進んでしまうので、最後まで分からないままになってしまうから。
- ・宿題はない方がいいと思っていた。でも掲示板に「授業で聞き逃がしてしまった所や、もっとやりたなと思ったところをもう一回勉強できる。」と書いてあったのを見て、僕自身もやっぱり宿題はあった方がいいと思った。

◆宿題は環境格差の大きな表れ

世界の就学率とその環境

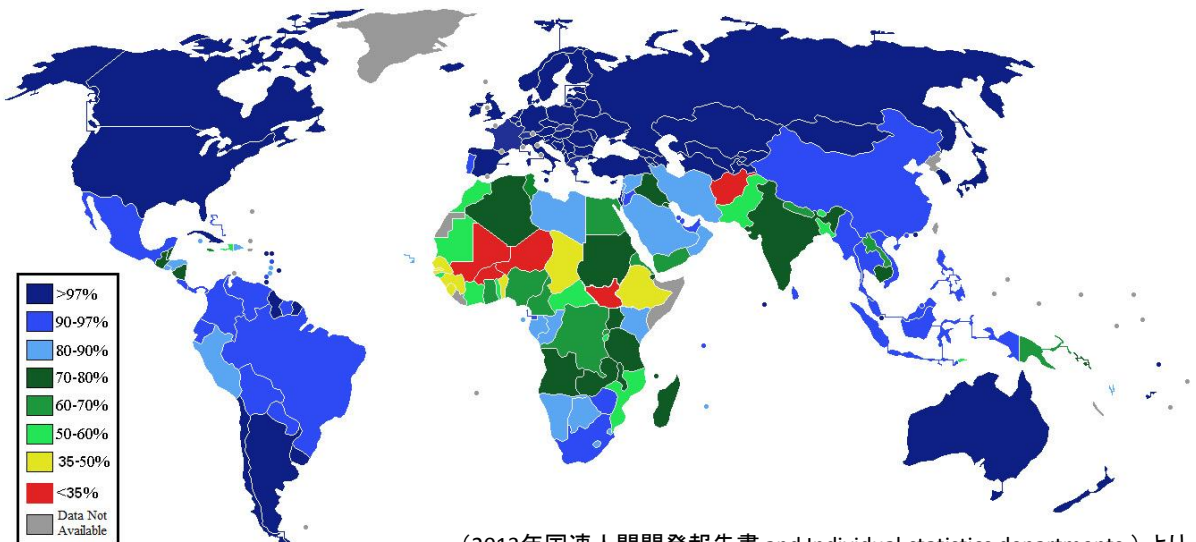
世界では、1億100万人の子どもたちが学校に通えていない。(2007年)
そして、7億7,600万人の大人が読み書きができないと言われている。(2009年)



初等教育を受けるべき年齢なのに学校に通っていない子供は世界で1億100万人 (UNICEF HPより)

◎世界の識字率 (※ふだんの生活に必要な「読み・書き・計算」ができることを「識字」と言います。)

日本では小学校から中学校の6歳～15歳が義務教育とされ、就学率はほぼ100%といわれている。どの国でも大人は、子どもが教育を受けられるようにする義務があり、子どもは教育を受ける義務を持っている。けれど、多くの開発途上国では、法律で義務教育とされている小学校、中学校の就学率が、平均して小学校で85%、中学校で49.5%と低くなっている。



(2013年国連人間開発報告書 and Individual statistics departments) より

教育を受けられない理由

(1) 貧困・・・授業料、教科書、学用品が買えない。

(※1日を約100円以下ですごしている人口は世界で約10億人もいる)

(2) 子供の労働・・・働いているので(強制的なこともある)、学校に行けない。

(※2億4600万人の5～17歳の子どもが、有害な労働についている)

(3) 女の子は学校に行くより、家の手伝いをしたり早く結婚したりすることが大切だと考えられている地域がある。

(4) 学校環境・・・①近くに学校がない。②先生の給料が安いので、先生が学校に来なかったり、先生の数が足りない。

教育を受けられないと、どうなるか？

字が読めないので悪い人にだまされたり、安定した収入のある職業につくことが難しい。

だから、貧しさから抜け出すことができなくなってしまい、貧しさが続いてしまうことが多い。

◆宿題があることは、学校に行って勉強ができること。
(=勉強できる環境に恵まれているから。)

◆外国の学校(教育)

(1) 欧米

6-2-4制、4-4-4制、3-4制など (地域によって異なる) 優秀な成績を修めることができれば、
どんどん上の学校に進むことができる。(飛び級ができる)

(2) 中国

基本的に6-3-3制が維持されていました。けれど、農村などの小学校では、財政的な理由から5年制を行う所も多い。5年制の小学校では、これに続く初級中学を4年としているが、4年制の初級中学はとても少なく、実際は5-3制となっている地域が多い。このため、5年制の小学校を延長して、6-3制にすることが考えられている。

(3) 韓国

6-3-3制。日本と同じように初等6、中等3、高等3の6-3-3制を採用している。日本と同じに見える教育システムだけど、中学校、高等学校では特異な教育制度「平準化政策」を採用している。

◆なぜ、宿題が嫌になるのか。

(多かった理由)

1 : させられていると感じるから。

2 : 部活や習い事で宿題をする時間がないから。

3 : 宿題をすることが面倒くさいから。

◆僕たちの考える宿題(やりたくなる宿題、いいと思う宿題)

【学習(勉強)】

・分からないところを徹底的に勉強することができる、個人に合った宿題。

分かっているところをいくらやっても結局、分からないところ分かる訳じゃないから、そんなことなら分からないところを磨く方がよっぽど後の内容につながると思う。
(分かっている所を勉強するなら、その時間を生かして苦手な所をやった方が良いと思う。)

・基礎からもう一度やり直す。

いくら今やってる部分が問題に出ても基礎が分かってなければ全部パーになってしまうから、もう一度基本からやり直した方が良いと思う。

・自分で苦手な所を見つけて毎日ノート2ページ分の勉強をする。苦手な所がなくなったら自習する。

・先生が1人ひとりの苦手な部分を宿題として出す。(個別宿題)

【その他の活動】

・趣味の活動をする。

例えば「釣り」だったら実釣(じっちょう)ではなく、そのための準備をしたら良いと思う。
仕掛けの研究をしたり、糸の結び方の練習等をしたら頭の体操にもなるし、次回の釣りで生かせると思うから。(魚によって仕掛けがちがうのも楽しいし、いろいろ研究できるから)

・気分転換のために、遊びやゲームをする時間も作る。

・体力をつけるために、運動をする。

・技術や集中力を高めるために部活動の練習をする。

僕たちのチームの中にサッカーでゴールキーパーをやっている人がいます。
チームのみんなが抜かれて、FWと1対1になった時、絶対に入れぬぞという気持ちが強くなって、チームの役に立ちたいと思うそうです。
そして、体を動かしてボールを蹴ることで体力、集中力がたかめられるそうです。

◆主な役割分担

■■■■■ : 韓国の学校担当・僕たちの考える宿題・活動のまとめ

■■■■■ : 欧米の学校担当・宿題が嫌な理由と教育を受けない将来・レポート入力

■■■■■ : 中国の学校担当・就学率と識字率の調査・チームの意見まとめ

その他のところはメンバー全員